

保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことを、お約束するものです。
保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番 **GST-2 AP**

S/No.

お買い上げ日

年 月 日

お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。

保証期間

お買い上げの日より1年(乾電池などの消耗部品は除く)

お客様

お名前

〒

様

ご住所

TEL.()

販売店

店名・住所

上欄に記入または捺印の無い場合は、必ず販売店様発行の領収書など、
お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

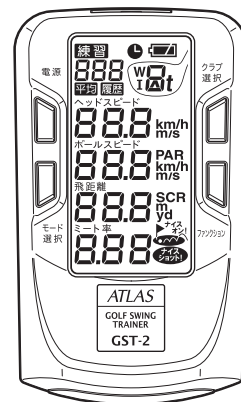
ATLAS®

GOLF SWING TRAINER

GST-2

ADVANCE Plus GST-2 AP

取扱説明書



このたびは、ユピテルのGOLF SWING TRAINERをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本機は、すべてのゴルファーの夢「シングルプレイヤー」を目指し、スコアアップを強力にサポートするツールです。

ゴルフで重要とされるミート率や推定飛距離を算出し、数値で表します。

また、本機搭載の練習モードによって、楽しみながら着実にレベルアップを図ります。

付属の「ハンドブック」とあわせ、スコアアップにお役立てください。

△注意

本書をよくお読みのうえ、正しく設置してご使用ください。誤った取り扱い、本機やゴルフクラブの破損、打球による事故などの原因となります。なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

株式会社 ユピテル

〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

6SS1417-A

● はじめに	
安全上のご注意	3
各部の名称と働き	6
本機機能について	7
電池の交換(取り付け)	9
角度調整ブラケットの使いかた	11
角度調整ブラケットを取り付ける	11
本体から角度調整ブラケットを取り外す	12
電源をON(OFF)にする	13
電源をONにする	13
電源をOFFにする	13
日時を設定をする	14
● 使ってみる	
ウッドやアイアンの場合	17
バターの場合	19
平均値を見る	21
履歴を確かめる	22
すべての履歴を消去するには	22
● 練習モード	
仮想ラウンド	23
チャレンジ	30
● スピード検知モード	
角度による速度検知の影響	33
打球やシュートの球速を検知する場合	34
カメラ用三脚を使う場合	35
バットスイングを検知する場合	38
● その他	
履歴を保存する	40
設定データを転送する	42
仕様	43
アフターサービスについて	44
保証書	裏表紙

安全上のご注意



ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをするときと生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告：この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠注意：この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示について

⚠ この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

⊘ この記号は、してはいけない「禁止」内容です。

! この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

本機は、電波法第四条「適合表示無線設備」に該当する移動体検知センサー用特定小電力無線局です。

ご注意 電波法について

■ 本機裏面の技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。

■ 海外では使用しないでください。

■ 分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。

⚠警告

-  公園や不特定多数の人が利用する場所での練習などは、大変危険ですので絶対に行わないでください。
-  周囲の状況に十分注意を払い、移動する物体から安全な距離を確保する…ケガや事故の原因となります。
-  心臓ペースメーカーなどの医療機器をご使用のお客様は、電波による医療用機器への影響を、医療用電機機器製造業者や担当医師に確認する…電波により医療用電機機器の動作に影響を与える場合があります。
-  分解、改造をしない…火災、ケガ、感電などの事故または故障の原因となります。
-  万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると火災や感電、ケガの原因となります。
-  煙が出ている、異臭がするなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。乾電池を取り外してすぐに使用を中止し、販売店に修理を依頼してください。
-  航空機内や船内など、使用を禁止された区域では電源を切り、乾電池を本機から外す…電子機器に影響を与える場合があります。
-  本装置の穴やすき間などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだりしない…火災、感電、故障の原因となります。

⚠注意

-  水をつけたり、水をかけない。また、ぬれた手で操作しない…本機は防水仕様ではありません。雨などがかかる場所では故障の原因となるため、使用しないでください。点検の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証の対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので、修理を実施できる場合でも有償修理となります。
-  本装置は、次のような場所に保管しないでください…変色したり、変形したり、故障の原因となります。
 - 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
 - 湿気やほこり、油煙の多い所
 - ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

⚠注意

-  重いものをのせたり、本装置の上に乗らない…ケガや破損、故障の原因となります。
-  落としたり、強いショックを与えない…破損、故障の原因となります。
-  圧力をかけない…多くのものがつまった荷物の中やかばんの底に入れると、外装や液晶表示部、内部基盤などの破損、故障の原因となります。
-  極端な高温、低温は避ける…温度は、0℃～50℃の範囲でご使用ください。
-  他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を与えたり、受けたりすることがあります。
-  乾電池を充電したり、分解しない…破損や発火、故障の原因となります。
-  乾電池を鍵やネックレス、コインなどの金属小物と一緒にポケットなどに入れない…感電、ショートの原因となります。
-  長時間ご使用にならない場合は、乾電池を外して保管する…乾電池が液漏れを起こし、本機を故障させることがあります。また、衣類などを汚す原因となります。液漏れしたときには、本機についた液をよく拭き取ってから、新しい乾電池と交換してください。
-  指定以外の乾電池は使用しない、また、古い乾電池を混ぜて使用しない…破裂や液漏れにより、火災やケガ、周囲を汚損する原因となります。
-  乾電池を入れるときは、極性に注意し、指示通りに入れる…間違えて入れると、破裂や液漏れにより、火災やケガ、周囲を汚損する原因となります。
-  使用済みの乾電池を火中に投げ入れない…爆発して火災や火傷の原因となります。
-  ゴルフクラブやバットの先端、棒のようなものでボタン操作を行わない…破損、故障の原因となります。

各部の名称と働き

本体

液晶画面
検知結果や電池残量などを表示します。

電源ボタン
本機の電源をON/OFFします。

モード選択ボタン
練習モード/スピード検知モードへの切り替えに使用します。

検知センサー部
この面を、ボールを打つ方向など、移動する物体の方向に向けます。

microSD挿入口
市販のmicroSDカードを挿入します。

電池収納部(裏面)
市販の単3形アルカリ乾電池を4本使用します。

クラブ選択ボタン
ゴルフクラブの種類選択に使用します。

ファンクションボタン
平均値/履歴表示の切り替えや検知結果をmicroSDカードに保存するときに使用します。

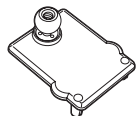
電池残量表示

液晶画面の電池残量が少なくなると、電池の交換時期です。



付属品

● プラケット



● ベース



● 単3形アルカリ乾電池 (4本)

● キャリングポーチ

● 取扱説明書・保証書 (本書)

● ハンドブック

本機機能について

つづく

本機の設置位置について

- 本機の設置位置は、ボールの後方約1m(● 17ページ手順3参照)に置きます。
- パッティング時は、● 19ページ手順3をご参照ください。

※ 次のような場合、正しく表示できないことがあります。

- ボールの軌道が高い(打ち出し角が大きい)場合や左右に逸れた場合、ボールスピードの検知が行えないことがあります。
- ロフト角の大きいクラブは打ち出し角も大きくなるため、ボールスピードの検知ができないことがあります。
- ゴルフ練習用ネットなどを使用した場合、ボール置き位置からネットまでの距離が3m以下の場合は、ボールスピードの検知が行えないことがあります。
- ボールスピードが20.0m/s未満の場合は検知できません。
- ヘッドスピードが15.0m/s未満の場合は検知できません。
- 複数台で使用する場合は、互いの距離を2m程度開けてください。近距離で複数台を使用すると、正しく検知できないことがあります。

ミート率表示について

- ミート率は、「ボールスピード÷ヘッドスピード」で算出されます。一般的には1.56が最高値(ボールの最大反発係数)といわれています。

※ ロフト角の大きいクラブほど、ミート率の値は小さくなります。

ナイスショット表示について

- ナイスショット表示は、ミート率(ボールスピード÷ヘッドスピード)が1.40以上になると表示されます。

※ ナイスショット表示はW1、W3、W5のクラブでのみ表示されます。

パッティング距離の検知について

- パッティング距離の検知は、グリーンの速さ(スティンプ) 8.8フィートの条件で算出・表示しています。

本機機能について

飛距離について

- 飛距離表示は、ボールスピードが検知できた場合はボールスピードから算出します。
- 素振りや弾道が高い球(番手の大きなアイアンなどで打った球)など、ボールスピードが検知できなかった場合は、ヘッドスピードからの算出となります。

メモ

ボールスピードから算出した飛距離は、ヘッドとボールの反発係数が加味されているため、ヘッドスピードからの飛距離と比較して、より正確な数値が算出できます。

●飛距離算出基準

- 本機は、市販の一般的なクラブによるデータを数多く収集し、得られた係数をもとに飛距離を算出しています。
- 飛距離は、平均的なスピン量、無風状態、フラットな地形を想定した、ランを含めた値です。
ご使用されるクラブによっては、飛距離表示と実際の飛距離に誤差が生じる場合があります。
- 打球の方向性は加味されていません。

●距離の算出条件(設定されているロフト角や芝条件)

	9.5°		28°
	15°		31°
	18°		35°
	20°		40°
	22°		50° (アブローチウェッジを想定)
	25°		グリーンの速さ(スティンプ) 8.8フィートの条件で算出しています。

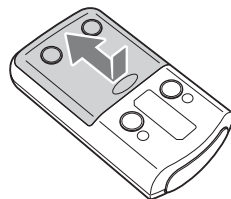
電池の交換(取り付け)

つづく

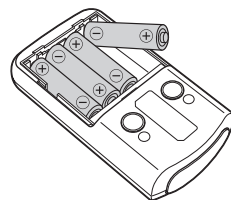
本機には工場出荷時、乾電池を付属してありますが、この乾電池はお試し用の乾電池です。記載された電池寿命より短い期間で切れることがあります。

乾電池を交換する場合は次の手順で行ってください。

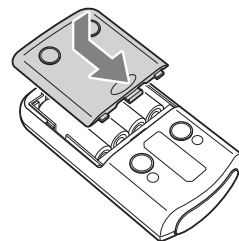
1 本体電池カバーを外す



2 プラスとマイナスの向きを間違えないように、単3形アルカリ乾電池をセットする



3 電池カバーを閉じる



電池の交換(取り付け)

● 電池の交換時期について

電池残量表示が  「少ない」になったときは、お早めに新しい乾電池と交換してください。

● 電池寿命の目安

単3形アルカリ乾電池4本で、連続約24時間使用できます。
※電池寿命は使用する条件によって異なります。

⚠注意

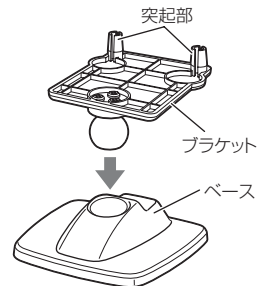
- 単3形アルカリ乾電池以外は使用しないでください。
- 交換するときは、必ず4本とも新しい乾電池と取り替えてください。
- 長期間ご使用にならない場合は、乾電池を外して保管してください。

角度調整ブラケットの使いかた

つづ

角度調整ブラケットを取り付ける

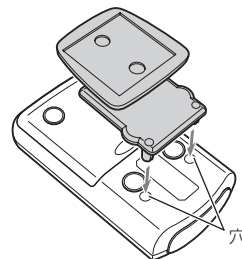
1 ベースにブラケットを取り付ける



2 本体にブラケットを取り付ける

右図のように、ブラケットの突起部を本体裏面の穴に差し込んでください。

※本体とブラケットの間にすき間がなくなるまで押し込んでください。

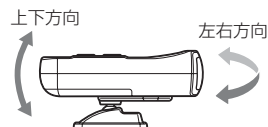


3 角度を調整する

本体が水平になるよう、角度を調整してください。

ブラケット部を押さえながら、ベース部分を動かしてください。

※ブラケット部を押さえずに角度調整を行うと、角度調整ブラケットが本体から外れてしまうことがあります。



⚠注意

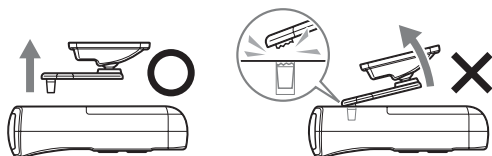
ブラケット、またはベースを持って持ち上げないでください。脱落し、ケガや故障の原因となります。

角度調整ブラケットの取り付け

本体から角度調整ブラケットを取り外す

角度調整ブラケットを取り外すには、ブラケット部を持って本体からまっすぐ引き上げてください。

※角度調整ブラケットを斜めに引き抜こうとすると、ブラケットの突起部が折れてしまう恐れがあります。

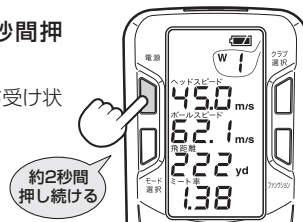


電源をON(OFF)にする

電源をONにする

1 (電源) ボタンを約2秒間押し続ける

電源がONになり、検知待ち受け状態になります。



メモ

- 過去の表示結果を履歴として本機に記録しています。電源ON時に前回の結果が表示されます。
- 電源ON時点で「練習」が表示されている場合は練習モードです(▶ 23ページ参照)
- (ファンクション) ボタンを押しながら (電源) ボタンを約2秒間押し続けて電源をONにすると、オートパワーオフ機能[※]を作動させずに電源をONにします。

※オートパワーオフ機能…何も操作しない状態が約5分以上続くと、自動的に電源がOFFになります。

電源をOFFにする

1 (電源) ボタンを約2秒間押し続ける

電源がOFFになります。



メモ

過去の表示結果を履歴として本機に記憶しています。履歴は、電源をOFFにしても保持されます。(乾電池を取り外したり、乾電池の容量がなくなった場合、すべての履歴が消去されます。)
市販のmicroSDカードに履歴を保存するには▶ 40ページをご参照ください。

日時設定を行うことでゴルフスイングで検知したデータに記録日時を付けることができます。

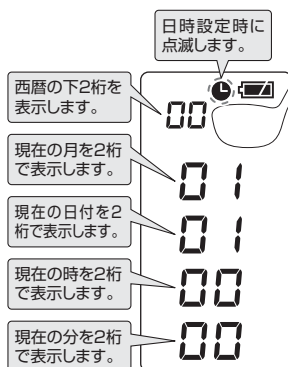
データ管理ソフトで確認を行う際、記録日時を目印として、ファイルの選択やデータの比較をおこなうことができます。

- 電池を装着した直後は、2000年1月1日0時0分になっております。
- データ管理ソフトは弊社ホームページからのダウンロードによる無料提供です。

設定方法

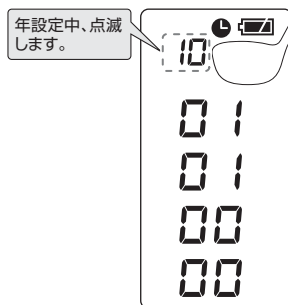
1 (クラブ選択) ボタンを押しながら、(電源) ボタンを約2秒間押し続け、電源をONにする

電源がONになり、日時設定画面が表示されます。



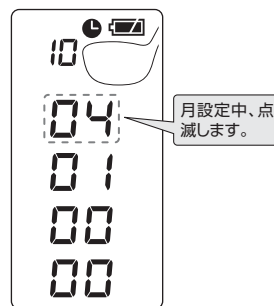
2 「年」を設定する

(クラブ選択) ボタンまたは (ファンクション) ボタンを押して、西暦(20 ** 年)の下2桁を選択し、(モード選択) ボタンを押します。



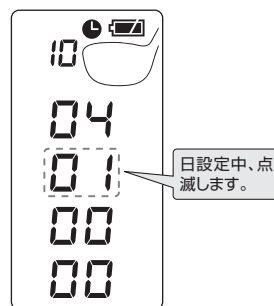
3 「月」を設定する

(クラブ選択) ボタンまたは (ファンクション) ボタンを押して、月(01 ~ 12)を選択し、(モード選択) ボタンを押します。



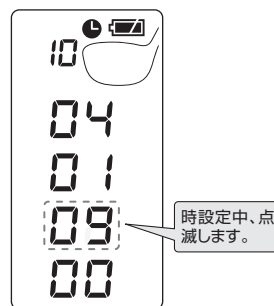
4 「日付」を設定する

(クラブ選択) ボタンまたは (ファンクション) ボタンを押して、日にち(01 ~ 31)を選択し、(モード選択) ボタンを押します。



5 「時」を設定する

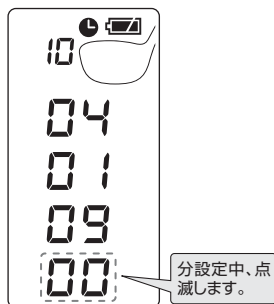
(クラブ選択) ボタンまたは (ファンクション) ボタンを押して、現在時刻の時(00 ~ 23)を選択し、(モード選択) ボタンを押します。



日時の設定をする

6 「分」を設定する

□ (クラブ選択) ボタンまたは
□ (ファンクション) ボタンを
押して、現在時刻の分(00 ~
59)を選択し、□ (モード選
択) ボタンを押します。



- 設定が完了すると、日時設定の画面を終了します。

メモ

- 設定した日時は乾電池によってバックアップしています。乾電池を取り外したり、容量がなくなった場合は、再度、設定し直してください。
- データ管理ソフトで確認したときに日時がズレている場合は、再度、設定し直してください。

使ってみる



ゴルフで重要とされるヘッドスピード、ボールスピード、推定飛距離、ミート率を確認できます。

ウッドやアイアンの場合

1度のスイングで、ヘッドスピード、ボールスピード、推定飛距離、ミート率を表示します。

1 電源をONにする

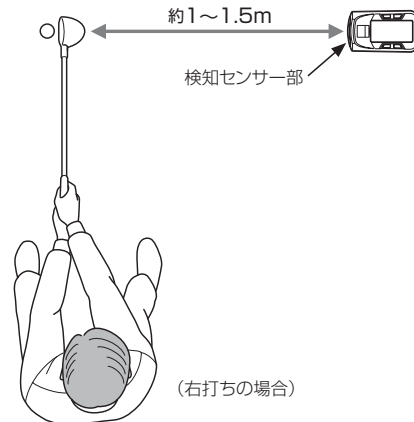
(▶ 13ページ「電源をON(OFF)にする」)

2 クラブを選択する

□ (クラブ選択) ボタンを押し、使用するクラブを選択する
ウッド(1W、3W、5W)、アイアン(3I ~ 9I、W)から、検知
するクラブを選択します。

3 本機を、ボールの後方約1m(ドライバー約1本分)に置く

本機の検知センサー部を、ボールを打ち出す方向に向け、設置してください。



メモ

起伏のない平坦なところで、本機とボールの間に障害物がないように設置してください。

4 スイングする

検知結果が表示されます。

検知後、液晶表示が点滅から点灯に変わり、結果が更新されたことをお知らせします。



メモ

- ミート率が1.40以上になると、液晶画面に「ナイスショット」を表示します。(● 7ページ「ナイスショット表示について」)
- 素振りでもヘッドスピードの表示は可能です。
- 約30ヤード以下の飛距離は表示できません。
- 日時を設定することで検知したデータに取得日と時間を記録することができます。(● 14ページ「日時の設定をする」)
- 各クラブの算出条件(ロフト角)は、8ページを参照してください。

※ 次のような場合、正しく表示できないことがあります。

- ボールの軌道が高い(打ち出し角が大きい)場合や左右に逸れた場合はボールスピードの検知が行えないことがあります。
- ロフト角の大きいクラブは打ち出し角も大きくなるため、ボールスピードの検知ができないことがあります。
- ゴルフ練習用ネットなどを使用した場合、ボール置き位置からネットまでの距離が3m以下の場合、ボールスピードの検知が行えないことがあります。
- ボールスピードが20.0m/s未満の場合は検知できません。
- ヘッドスピードが15.0m/s未満の場合は検知できません。
- 複数台で使用する場合は、互いの距離を2m程度開けてください。近距離で複数台を使用すると、正しく検知できないことがあります。

バターの場合

ボールスピードを検知し、検知結果より算出したパッティング距離を表示します。

目標の数値が安定して出せるよう、距離感の練習にご利用ください。

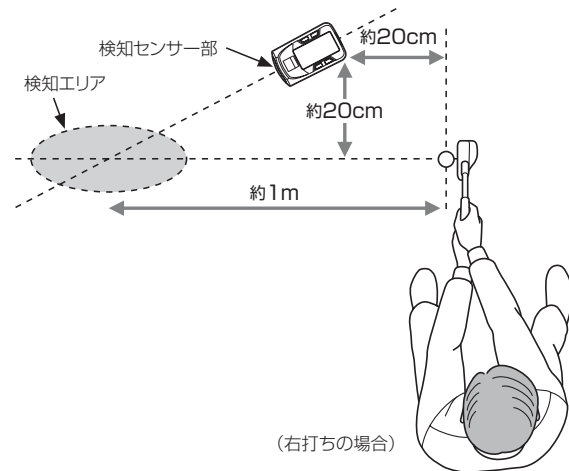
1 電源をONにする

(● 13ページ「電源をON(OFF)にする」)

2 クラブを選択する

□ (クラブ選択) ボタンを押し、バター(Pt)を選択する

3 本機を、下図のように設置する



メモ

起伏のない平坦なところで、本機とボールの間に障害物がないように設置してください。

4 パッティングする

検知結果が表示されます。

検知後、液晶表示が点滅から点灯に変わり、検知結果が更新されたことをお知らせします。



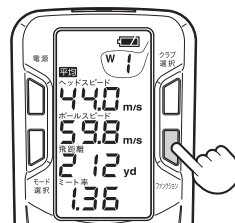
メモ

- グリーンの速さ(スティンプ)は、8.8フィートを想定して算出しています。
- ボールの動いた距離が短い(約1m以下)場合は、検知できません。
- ヘッドスピードは検知できません。
- 検知エリア付近に、動くものや人がいる場合、正確な検知ができない場合があります。また、検知エリア付近の動くものや人によって、検知・表示することがあります。
- 芝や起伏、その他の条件により、実際の距離とは一致しないことがあります。
- 複数台で使用する場合は、互いの距離を2m程度開けてください。近距離で複数台を使用すると、正しく検知できないことがあります。

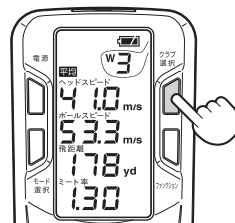
ゴルフクラブの番手ごとに平均値を表示します。

1 (ファンクション)ボタンを押す

液晶画面に「平均」が表示され、1番ウッドの平均値が表示されます。



「平均」表示中に (クラブ選択) ボタンを押すと、他クラブの平均値を確認できます。



メモ

- 検知履歴のないクラブは表示されません。
- 約10秒間ボタン操作が行われなかった場合は、平均値表示を終了します。
- 平均値表示中でもクラブを振ったり、ボールを打つと、平均値表示を終了し、検知結果を液晶画面に表示します。
- クラブ選択でパター(Pt)を選択した場合、ボールスピードとパッティング距離のみ表示します。

平均値を表示中に□(ファンクション)ボタンを押すと、過去の結果から、最新10件の履歴を順番に表示します。

- ※ 履歴表示中は、液晶画面に履歴が表示されます。
- ※ □(ファンクション)ボタンを押すたびに1、2……9の順に表示が変わり、最も古い履歴を表示中に□(ファンクション)ボタンを押すと、検知待ち受け状態に戻ります。
- ※ 履歴表示中でも、クラブを振ったりボールを打つと自動的に履歴表示を終了し、検知結果を液晶画面に表示します。
- ※ 本機には、最大500件分の検知データが保存できますが、すべての履歴を確認するには、データ管理ソフトがインストールされたパソコンが必要です。(● 40、42ページ)
- ※ 約10秒間ボタン操作が行われなかった場合は、履歴表示を終了します。
- ※ 練習モード(● 23ページ)やスピード検知モード(● 33ページ)で検知したデータは履歴確認ができません。
- ※ 乾電池を取り外したり、乾電池の容量がなくなった場合、すべての履歴が消去されます。

すべての履歴を消去するには

□(ファンクション)ボタンと□(モード選択)ボタンを同時に約2秒間押し続けると、液晶画面に「CLR」が表示され、履歴をすべて消去します。



練習モードは、1～18番ホールを回る「仮想ラウンド」と、ランダムに設定された目標距離を狙ってスイングする「チャレンジ」があります。

※ 仮想ラウンドは1番～18番ホールを順にプレイします。任意のホールを選ぶことはできません。

仮想ラウンド

仮想の18ホールを回ります。
コースのレイアウトにつきましては、別冊のハンドブックをご参照ください。

1 電源をONにする

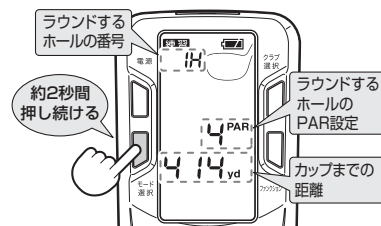
(● 13ページ「電源をON(OFF)にする」)

メモ

前回、電源をOFFにしたときのモードで、電源がONになります。

2 □(モード選択)ボタンを約2秒間押し続ける

1番～18番ホールのPAR設定やカップまでの距離を表示し、各ホールの概要をお伝えします。



＜各ホールの概要＞

メモ

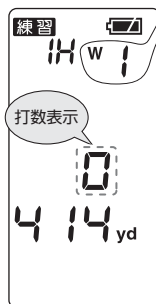
- 液晶画面に「練習」と「C」が表示されている場合は、チャレンジです。(● 30ページ参照)
- (モード選択)ボタンを押して仮想ラウンドに切り替えてください。
- (モード選択)ボタン約2秒間押し続けると、練習モードを終了し、スピード検知モードになります。
- 再度、□(モード選択)ボタンを約2秒間押し続けると、ゴルフクラブの検知待ち受け状態になります。

3 (クラブ選択)ボタンを押し、使用するクラブを選択する

ウッド(1W、3W、5W)、アイアン(3～9I、W)からクラブを選択します。

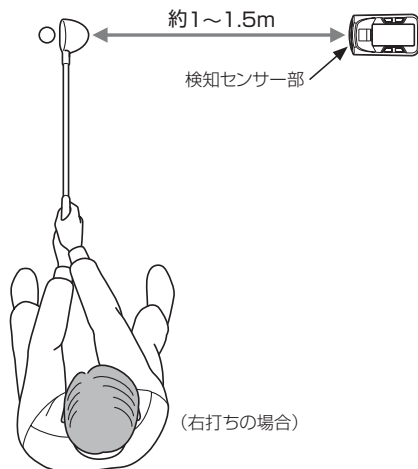
メモ

各クラブの算出条件(口フト角)は、 8ページを参照してください。



4 本機を設置する

本機の検知センサー部を、ボールを打ち出す方向に向け、設置してください。



<選択クラブがウッド、アイアンの場合>

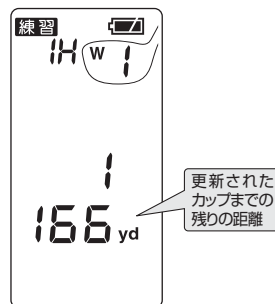
メモ

起伏のない平坦なところで、本機とボールの間に障害物がないように設置してください。

5 ボールを打つ

メモ

- OBとなった場合は、1打罰となり、打ち直しとなります。
- ウォーターハザードとなった場合は、1打罰となり、池のすぐ手前のフェアウェイから打ち直しとなります。
- 検知結果表示後、 (ファンクション)ボタンを約2秒間押し続けると、直前に検知した1打分のみリセットすることができ、打ち直しができます。

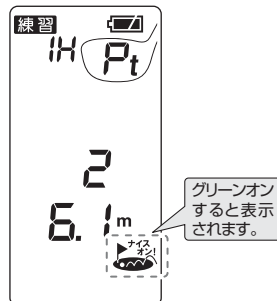


6 手順3～5を繰り返し、残りの距離を縮めていく

グリーンにオンするまで繰り返してください。グリーンにオンすると「ナイスオン」が表示され、クラブの選択が自動的にパターになります。

グリーンオンすると…

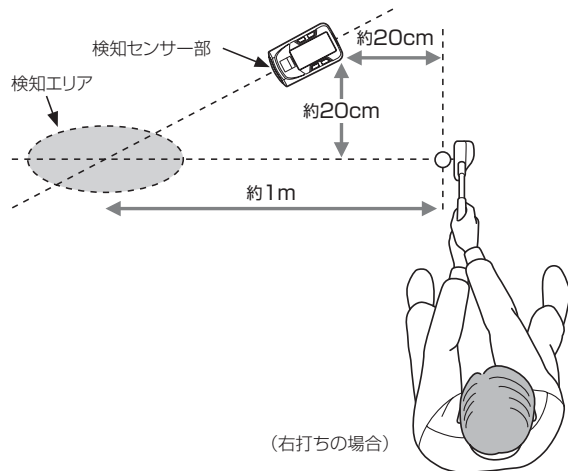
距離単位がメートルに変わり、パッティング検知になります。



<グリーンオン>

7 パッティングする

下図のように本機の設置場所を変更し、パッティング時のボールスピードを検知します。

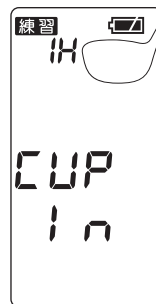


メモ

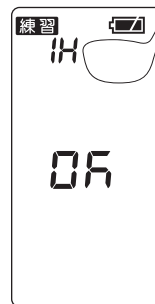
- ・グリーンの速さ(スティンプ)は、8.8フィートを想定して算出しています。
- ・ボールの動いた距離が短い(約1m以下)場合は、検知できません。
- ・ヘッドスピードは検知できません。
- ・検知エリア付近に、動くものや人がいる場合、正確な検知ができない場合があります。また、検知エリア付近の動くものや人によって、検知・表示することがあります。
- ・芝や起伏、その他の条件により、実際の距離とは一致しないことがあります。

ポイント

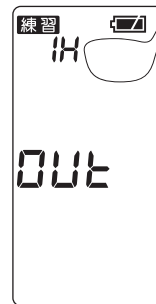
- ・残りの距離が1m以下になるとカップインとなります。
- ・残りの距離が3m以下の場合はOKとなり、1打加算してホールアウトとなります。
- ・ボールがグリーンの上であり、残りの距離が3m以上の場合、 (クラブ選択) ボタンを押すと、スコアに2打を加算してホールアウトすることができます。
- ・ホールアウトは、「ナイスオン」表示中のみ可能です。



カップイン
: 1m 以下



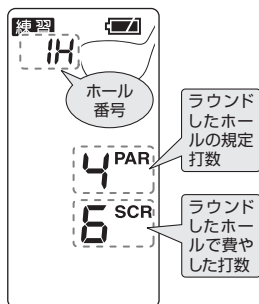
OK
: 3m 以下
(1打プラス)



ホールアウト
: (クラブ選択) ボタン
(2打プラス)

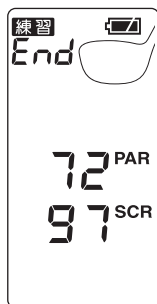
8 ホールアウト後、ホールごとのスコアが表示されます。

□ (クラブ選択) ボタンを押すと、次のホールへ進みます。



<スコア表示>

- 18(最終)ホールのスコアを表示中に□ (クラブ選択) ボタンを押すと、ホール番号が「End」になり、ラウンドした全ホールのトータルスコアを表示します。
- トータルスコアを表示中に、□ (クラブ選択) ボタンを押すと、1ホール目から再開となります。



<トータルスコア>

仮想ラウンドの履歴を確認する

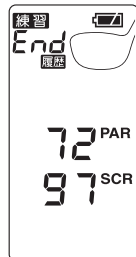
仮想ラウンドのホール概要表示中に□ (ファンクション) ボタンを押すと、ホール番号部分の表示が「End」になり、過去に回った仮想ラウンドの履歴を表示します。

□ (ファンクション) ボタンを押すごとに、ホール番号が変わり、そのホールでのスコアが表示されます。

※ ホール番号が「End」のときは、前回ラウンドした18ホールのトータルスコアが表示され、続けて□ (ファンクション) ボタンを押すと1～18ホールの履歴を順に表示させることができます。

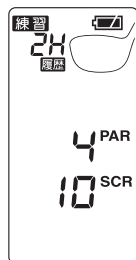
※ ラウンド途中で□ (ファンクション) ボタンを押すと、ラウンド途中の合計スコアに続けて、現在プレイ中のホールまでのスコアが表示されます。

※ 約5秒間ボタン操作が行われなかった場合は、ホール概要表示に戻ります。



<履歴>

18ホールトータル

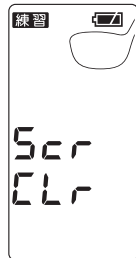


<履歴>

ホール

仮想ラウンドの履歴を消去する

仮想ラウンド表示中に□ (ファンクション) ボタンと□ (モード選択) ボタンを約2秒間押し続けると、液晶画面に「Scr CLR」が表示され、仮想ラウンドの履歴を消去します。



<スコアクリア>

チャレンジ

ランダムで設定された目標距離に対し、近いショットを打てるかチャレンジします。

±10ヤード以内の場合、「ナイスオン」として得点(1点)が与えられ、10ゲーム終了時に合計得点が表示されます。

1 電源をONにする

(● 13ページ「電源をON(OFF)にする」)

メモ

前回、電源をOFFにしたときのモードで、電源がONになります。

2 (モード選択)ボタンを約2秒間押し続ける

チャレンジの画面が表示されます。

※仮想ラウンドになっている場合、(モード選択)ボタンを押して、チャレンジに切り替えてください。



<チャレンジの画面>

メモ

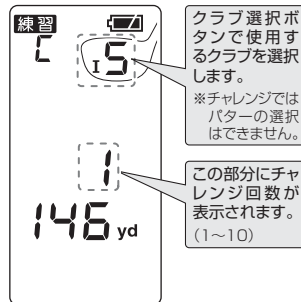
目標距離は、50～150ヤードの中でランダムに設定されます。

3 (クラブ選択)ボタンを押し、使用するクラブを選択する

クラブを選択すると、検知待ち受け状態になります。

メモ

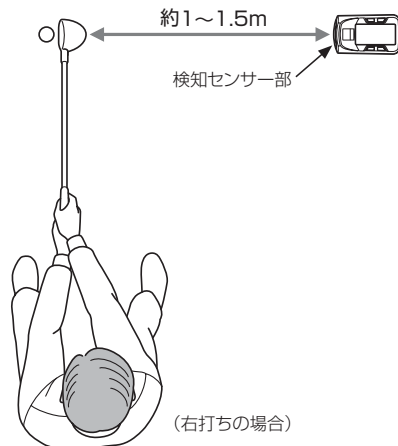
- ・ウッド(1W、3W、5W)、アイアン(3～9 I、W)から使用するクラブを選択してください。
- ・各クラブの算出条件(ロフト角)は、8ページを参照してください。



<クラブ選択>

4 本機を設置する

本機の検知センサー部を、ボールを打ち出す方向に向け、設置してください。



(右打ちの場合)

メモ

起伏のない平坦な場所に置き、本機とボールの間に障害物がないように設置してください。

5 ボールを打つ

メモ

- ・ナイスオンの表示が出ると、得点1が加点されます。
- ・検知結果表示後、 (ファンクション) ボタンを約2秒間押し続けると、直前に検知した1打分のみリセットすることができ、打ち直しができます。

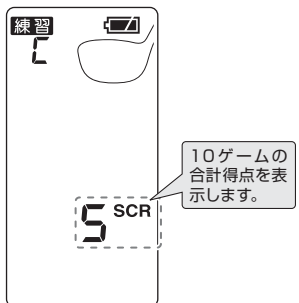


<ナイスオン>

6 (クラブ選択) ボタンを押し、次のホールへ進む

手順3～6を繰り返し、10ゲーム終了すると合計得点を表示します。

続けて挑戦する場合は、合計得点を表示中に (クラブ選択) ボタンを押すと、手順3に戻ります。



<合計得点>

野球やソフトボール、サッカーなどのボールの速度や、バットスイングのヘッドスピードを表示できます。

【使用上のご注意】

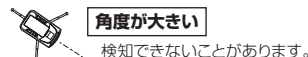
- ・本機で表示される速度は、実際とは異なることがあります。
- ・本機の検知センサー部の前に金網などの遮蔽物がある場合、検知できる距離が短くなることがあります。
- ・移動する物体の軌道に対して、真横から検知することができません。
- ・移動物の軌道に対し、本体を使用する位置に角度があると、検知した速度は遅く表示されます。

※ 下図は市販のカメラ用三脚を使用した設置例です。(➡ 35ページ「市販のカメラ用三脚を使う場合」)

検知例



角度による速度検知の影響

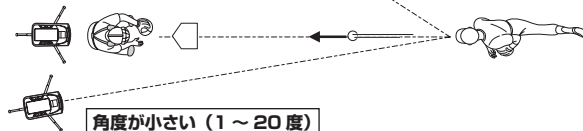


角度が大きい

検知できないことがあります。

角度：0度

「検知例」のように、捕手や遮蔽物の陰にならない条件では、より正確な速度検出ができます。



角度が小さい (1～20度)

実際の速度より、少し遅く表示されます。

例 >>>

実際の速度が100km/hのとき、本体を使用する角度が10度ある場合、速度表示の値は98km/hとなります。

実際の速度	移動物との角度	速度表示の値
100km/h	0度	100km/h
	10度	98km/h
	20度	96km/h

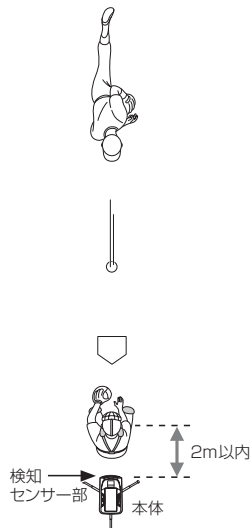
投球やシュートの球速を検知する場合

野球やソフトボールの投球、サッカーのシュートなど、ボールの速度を検知して表示します。

• 以下の説明は、主に野球の投球をイメージした内容です。

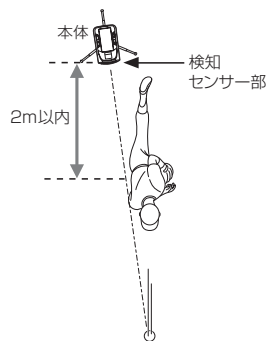
● 設置場所について

例1 >>>



例2 >>>

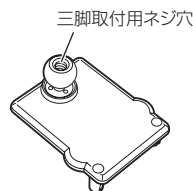
(初速度を検知したい場合)



- 左図のように捕手や投手の真後ろまたは、少し斜め後方に設置してください。(安定した検出を行うには、三脚や、机などの台を使用した設置をおすすめします)
- できるだけ捕手や投手の陰にならないよう設置してください。体の陰になる場所に設置すると、正しく検知できないことがあります。
- 捕手または投手から本体の距離は、約2m以内に設置してください。(ボールの大きさや材質などにより、検知できる距離は異なります)
- 初速度を検知させたい場合は、投手の後方(例2)に設置してください。
- ケガや事故の原因とならぬよう、移動する物体や周囲の状況に十分ご注意ください。

● 市販のカメラ用三脚を使う場合

ブラケットの三脚取付用ネジ穴に、市販のカメラ用三脚を取り付けることができます。野球の投球など、本体を高い位置に設置するときは、市販のカメラ用三脚を使って高さを調整してください。



⚠ 注意

本体をカメラ用三脚に取り付けたまま、持ち運んだり、角度調整を行ったりしないでください。本体が脱落し、ケガや故障の原因となります。

使用方法

1 電源をONにする

(● 13ページ「電源をON(OFF)にする」)

メモ

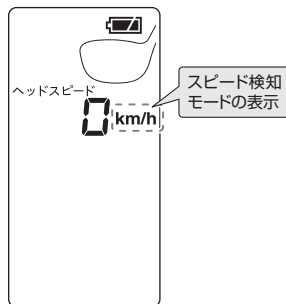
- 前回、電源をOFFにしたときのモードで、電源がONになります。
- 液晶画面に **練習** が表示されている場合は、手順3へ

2 (モード選択)ボタンを約2秒間押し続ける

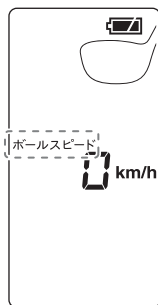
液晶画面に **練習** が表示され、練習モードの画面になります。

3 (モード選択)ボタンを約2秒間押し続ける

km/hが表示され、スピード検知モードになります。



4 (モード選択)ボタンを押し、ボールスピードへ切り替える



5 投球を行う

ボールの速度が点滅表示されます。

検知後、速度表示が点滅から点灯に変わり、検知結果が更新されたことをお知らせします。



メモ

- 40km/h未満は検知できません。
- 検知結果は、本機に記憶されません。検知結果が更新された場合は、前回の検知結果は消去されます。
- スピード検知モードを終了する場合は、(モード選択)ボタンを約2秒間押し続けてください。
- 履歴確認はできません。
- 電源をOFFにする直前の表示結果を本機に残しています。電源をOFFにしても保持されます。(乾電池を取り外したり、乾電池の容量がなくなった場合、消去されます)
- (ファンクション)ボタンを押すと、検知結果をリセットします。

スピード検知モード

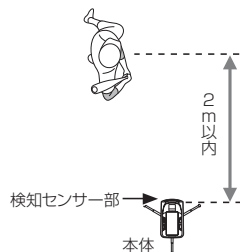
バットスイングを検知する場合

素振りをした場合のバットスイングの速度を検知して表示します。

【使用上のご注意】

バットの場合、ゴルフクラブのように電波を反射しやすい大型の突起部分がなく、検知(反射)部位を特定することが困難です。そのため、一定のスイングであっても、検知ごとに数値が異なることがあります。

●設置場所について



- 上図のように打者の後方から、バットの軌道位置に向けて設置します。(安定した検知を行うために、三脚や、机などの台を使用した設置をおすすめします)
- 打者から本機の距離は、約2m以内に設置してください。
- 金属バットの方が検知しやすくなります。
木製バットを使用して検知できない場合は、打者と本体の距離を短くしてください。
- 周囲の状況に十分ご注意ください。

使用方法

1 電源をONにする

(● 13ページ「電源をON(OFF)にする」)

メモ

- 前回、電源をOFFにしたときのモードで、電源がONになります。
- 液晶画面に **練習** が表示されている場合は、手順3へ

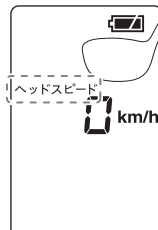
2 (モード選択)ボタンを約2秒間押し続ける

液晶画面に **練習** が表示され、練習モードの画面になります。

3 (モード選択)ボタンを約2秒間押し続ける

km/hが表示され、スピード検知モードになります。

※液晶画面にボールスピードと表示されている場合は、(モード選択)ボタンを押し、ヘッドスピードへ切り替えます。



4 素振りを行う

バットスイングの速度が点滅表示されます。

検知後、速度表示が点滅から点灯に変わり、検知結果が更新されたことをお知らせします。



メモ

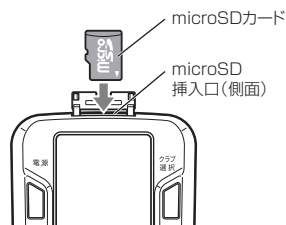
- 60km/h未満は検知できません。
- 検知結果は、本機に記憶されません。検知結果が更新された場合は、前回の検知結果は消去されます。
- スピード検知モードを終了する場合は、(モード選択)ボタンを約2秒間押し続けてください。
- 履歴確認はできません。
- 電源をOFFする直前の表示結果を本機に残しています。電源をOFFにしても保持されます。(乾電池を取り外したり、乾電池の容量がなくなった場合、消去されます)
- (ファンクション)ボタンを押すと、検知結果をリセットします。

履歴を保存する

本機に記憶された履歴(最大500件のゴルフの検知データ)を、市販の microSD カードに保存し、データ管理ソフトをインストールしたパソコンで、データを管理できます。

- 本機は、市販の microSD カードで、容量が2GB以下のものに対応しています。
- 本機は、SD 規格以外(SDHC 等)には対応していません。
- microSD カードにアクセス中(データ読み込み/保存中など)は、本機から microSD カードを取り外さないでください。故障などの原因となります。
- microSD カードを抜き差しするときは、本機の電源を OFF にして行ってください。
- microSD カードは、本機専用でお使いください。
- データ管理ソフト(フリーウェア)やご利用方法などの詳細は、弊社ホームページをご確認ください。
<http://www.yupiteru.co.jp/>

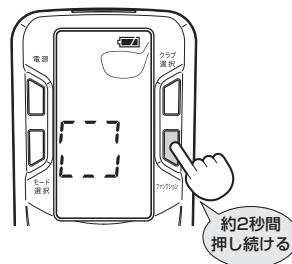
1 microSD カードを microSD 挿入口に差し込む



microSD カードの向きに注意し、『カチッ』と音がするまで差し込んでください。

2 本機の電源を ON にし、液晶画面に m/s が表示されている状態で (ファンクション) ボタンを約2秒間押し続ける

結果表示部の外周が点滅し、microSD カードに履歴を保存します。



- 液晶画面に **練習** を表示している場合は、 (モード選択) ボタンを約2秒間押し、km/h を表示させ、もう一度、 (モード選択) ボタンを約2秒間押します。
- 液晶画面に km/h を表示している場合は、 (モード選択) ボタンを約2秒間押します。

※microSD カードにデータを保存しても、本機の履歴は消えません。
※microSD カードに転送できるデータは、ゴルフのヘッドスピード、ボールスピード、推定飛距離、ミート率、クラブ種類、データの記録日時です。

設定データを転送する

データ管理ソフトを使用し、GST-2の設定内容をお好みの値に変更することができます。変更したデータは、microSDカードを介して本機へ反映させることができます。

変更できる内容は、次のとおりです。

項目名	設定内容
オートパワーオフ	オートパワーオフまでの時間を変更します
検知後点滅時間	検知後の点滅時間を変更します。
履歴クリア表示時間	履歴を消去したときに表示される「CLr」の時間を変更します。
平均・履歴表示時間	平均・履歴表示から検知待ち受けに戻るまでの時間を変更します。
ナイスショット基準値	ナイスショット判定の基準値を変更します。
飛距離係数	推定飛距離を算出するための係数を、クラブごとに変更できます。
チャレンジ目標距離範囲	練習モードにおけるチャレンジの目標飛距離の範囲を変更します。

データ管理ソフト(フリーウェア)やご利用方法などの詳細は、弊社ホームページをご確認ください。

<http://www.yupiteru.co.jp/>

1 データ管理ソフトで編集したデータ(ファイル名: gst2.ini)をmicroSDカードに保存する

2 microSDカードを、GST-2のmicroSDカードスロットに差し込む
microSDカードの向きに注意し、『カチッ』と音がするまで差し込んでください。
※microSDカードを抜き差しするときは、必ず本機の電源をOFFにしてから行ってください。

3  (モード選択) ボタンを押しながら  (電源) ボタンを約2秒間押し続け、本機の電源をONにする

microSDカード内のデータを読み込み、本機の電源をONにします。
※工場出荷時の設定に戻す場合は、本機の電源を一旦OFFにし、microSDカードを抜いた状態で  (モード選択) ボタンを押しながら  (電源) ボタンを約2秒間押し続け、本機の電源をONにしてください。

仕様

- **マイクロ波センサー**
 - 適合技術基準 : 特定小電力無線局 移動体検知センサー
 - センサータイプ : ドップラーセンサー
 - 発振周波数 : Kバンド 24GHz帯
 - 送信出力 : 2.5 mW以下
- **ヘッドスピード**
 - ドライバー / アイアン / ウェッジ : 15.0 ~ 99.9m/s(メートル / 秒)
- **ボールスピード**
 - ドライバー / アイアン / ウェッジ : 20.0 ~ 99.9m/s(メートル / 秒)
 - パター : 0.5 ~ 15.0m/s(メートル / 秒)
- **ミート率** : 0.10 ~ 1.80
- **履歴保持・平均値算出**
 - 履歴の保持件数 : 液晶画面表示用最大10件
 - 平均値算出機能 : microSD 保存用最大500件
 - : クラブの種類ごとの平均値を表示(最大500件の中からクラブの種類ごとに算出)
- **スピード検知モード**
 - ボール表示範囲 : 40 ~ 200km/h(キロメートル / 時)
 - バット表示範囲 : 60 ~ 200km/h(キロメートル / 時)
- **電源**
 - 電池電圧 : 6V(単3形アルカリ乾電池4本使用)
 - 電池寿命 : 1日1時間の使用で約1カ月(連続使用で約24時間)
- **本体**
 - 外形寸法 : 74(W) × 126(D) × 35(H)mm(突起部含まず)
 - 重量 : 約238 g(乾電池含む)
 - 動作温度範囲 : 0℃ ~ 50℃

※この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

アフターサービスについて

■ 保証書

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえ、保証内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

■ 保証期間

お買い上げの日から1年間です。

■ 修理を依頼されるとき

- ※ 点検や修理の際、設定内容やデータが消去される場合があります。必ずお客様ご自身で事前に控えを残しておいていただきますようお願いいたします。
- ※ 修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中のとき

恐れ入りますが、お買い上げの販売店に、保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定に従って修理いたします。

● 保証期間が過ぎているとき

販売店に、まずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

■ アフターサービスなどについてご不明な点は

お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

ユビテルで相談窓口一覧

お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況も一緒にご相談ください。

- 下記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

故障相談や使いかた、付属品の購入方法などに関するお問い合わせ

受付時間 9:00～17:30

月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

地 区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部 TEL. (011)618-7071 〒060-0008 北海道札幌市中央区北8条西18丁目35-100 エアリービル 1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部 TEL. (022)284-2501 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2喜和ビル 1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・新潟・静岡	東京営業所・サービス部 TEL. (03)3769-2525 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新本ビル 3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・長野・福井	名古屋営業所・サービス部 TEL. (0564)66-8411 〒444-2144 愛知県岡崎市岩津町榎ノ上3
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知・鳥取・島根・岡山・広島・山口	大阪営業所・サービス部 TEL. (06)6386-2555 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部 TEL. (092)552-5351 〒815-0035 福岡県福岡市南区向野2-3-42F

使いかたに関するお問い合わせ

受付時間 10:00～17:30

月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター TEL. (0564) 45-5599

- 点検や故障、付属品の購入に関するご相談については、お近くの営業所・サービス部までお問い合わせください。

1. 表面記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体および本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品など本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
4. 保証期間内でまたの場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源による故障及び損傷
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障および損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (チ) 付属品や消耗品等の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

[illegible]

※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

※ 弊社営業所・サービス部は本書「ユビテルご相談窓口一覧」をご覧ください。